



DIGITAL PEN SOLUTION

[デジタルペン・ソリューショントップページへ戻る](#)

デジタルペンを使うと…
What「何」ができる?
How「どう」できる?
And more さらに「こう」できる!
アト方式デジタルペンの仕組み
アト方式デジタルペンの動作環境
デジタルペン対応用紙提供スキーム
デジタルペンの特長
ソリューションの適用シーン
ソリューションの展開例
① 申込受付・申込書記入業務
② ガス業界点検メンテナンス業務
③ コールセンター業務
④ 時間管理業務
⑤ 外勤営業・見積
⑥ アンケート調査業務
DNPのソリューション領域
パートナー支援プログラム
Digital Pen Toolbox (開発キット)
プリントオンデマンドシステム(POD)
仕組み・特徴
システム構成図
実用性検証のためのトライアル環境
DNP 導入実績
実績① (ワオ・コーポレーション様)
実績② (秀英予備校様)
実績③ (トリアーシタグへの展開)
実績④ (コンピュータシステム研究所様)
実績⑤ (住商アイナックス様)
実績⑥ (東京電力様)
実績⑦ (日本デルモンテ様)
実績⑧ (信販・クレジット会社)
実績⑨ (三菱UFJ信託銀行様)
実績⑩ (西日本高速道路様)
実績⑪ (巣鴨信用金庫様)
関連記事
新たな価値創出を目指すデジタルペン インタビュー記事(ワオネット様)
Q & A
デジタルペンについて
取得データについて
データのセキュリティについて
専用用紙について

DNPはアト専用用紙のデザイン・印刷から、システムの開発・構築まで幅広いソリューションをご提供できます。さらに、システム会社との連携やサポートも可能です。

実績⑪：入金取次帳管理システム(巣鴨信用金庫様)

デジタルペンの特長を活かし、「複数取引が記入できる」という入金取次帳の利点や、顧客が慣れ親しんだ紙の運用を変えずに、業務の厳格化につながる管理システムを開発しました。

✓ 記入時間や取次内容を瞬時にデータ化し、業務を厳格化!

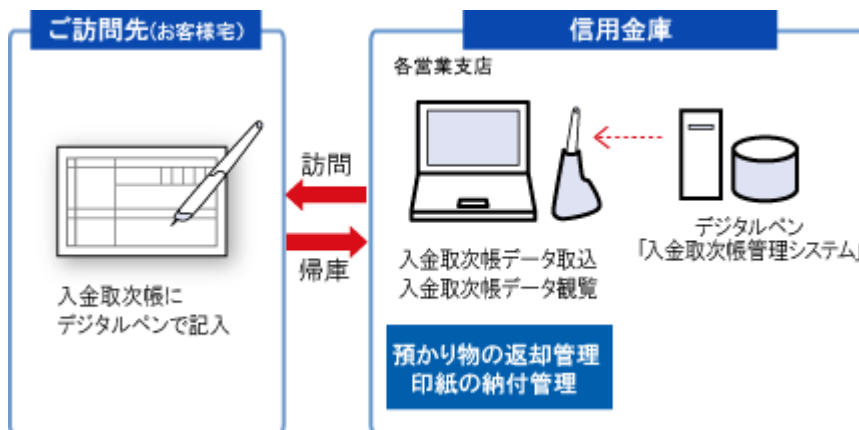
課題

同庫では、記入内容を信金側で把握できない、追記の管理ができない、預かり物の返却管理ができない、といった管理上の課題を抱えていた。

概要

デジタルペンで入金取次帳に記入すると、記入時間や取次内容が瞬時にデータ化され、信用金庫の本部に送信される。そのため、顧客からの預かり物の返却管理や、印紙の適正な納付管理など、業務の厳格化が図れる。

● 巣鴨信用金庫「入金取次帳管理システム」の概要



デジタルペン採用のポイント

- 従来の紙での運用を変えないため、営業担当者の負担が少なく、顧客も受け入れやすい
- 記入時間や取次内容を瞬時にデータ化し、本部に送信
- 証跡やペンの時刻情報を用いることで、記入内容や記入プロセスの厳格な管理を実現

[お問い合わせ](#)



[DNPトップページ](#)

[IPS事業部トップページ](#)

[デジタルペンのソリューション トップページ](#)

DNP Information Processing
Solutions Operations